

平成 20 年 6 月 9 日

株式会社格付投資情報センター（R & I）の格付け取得について

株式会社足利銀行（頭取 池田憲人）は、株式会社格付投資情報センター（R & I）より、発行体格付け「A－」（シングルAマイナス）を取得いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 取得した格付けの内容

- （１）格 付 け 発行体格付け「A－」（格付けの方向性は安定的）
- （２）格 付 け 機 関 株式会社格付投資情報センター

2. 格付け理由

- ・ 当行の債務超過額に対して預金保険法に基づく金銭贈与が行われること、株式会社足利ホールディングスによる当行株式の譲受けならびに 1,600 億円の増資引受けが行われることを前提とする。
- ・ 栃木県内で高い市場地位を維持し、群馬や茨城、埼玉などにも一定の基盤を確保している。また、リテールセンターの展開などが奏功し、顧客基盤は概ね回復している。
- ・ 収益性は地銀平均を大きく上回り、リテール銀行として持続可能な利益を上げていく体制が整備されている。
- ・ 連結ネットリスク管理債権比率はAゾーンの中でも低く、資産の質が大きく改善した。
- ・ Tier I の絶対額からリスク耐久力はやや改善の余地があり、将来の自己資本管理政策に注目していく。

※詳しくは、株式会社格付投資情報センター(R&I)のホームページ(<http://www.r-i.co.jp/jpn/>)をご参照ください。

<参考：格付け符号と定義>

A A A	信用力は最も高く、多くの優れた要素がある。
A A	信用力は極めて高く、優れた要素がある。
A	信用力は高く、部分的に優れた要素がある。
B B B	信用力は十分であるが、将来環境が大きく変化する場合、注意すべき要素がある。
B B	信用力は当面問題ないが、将来環境が変化する場合、十分注意すべき要素がある。
B	信用力に問題があり、絶えず注意すべき要素がある。
C C C	債務不履行に陥っているか、またはその懸念が強い。債務不履行に陥った債権は回収が十分には見込めない可能性がある。
C C	債務不履行に陥っているか、またはその懸念が極めて強い。債務不履行に陥った債権は回収がある程度しか見込めない。
C	債務不履行に陥っており、債権の回収もほとんど見込めない。

※A A格からC C C格については、上位格に近いものにプラス、下位格に近いものにマイナス表示をすることがあります。

以 上